

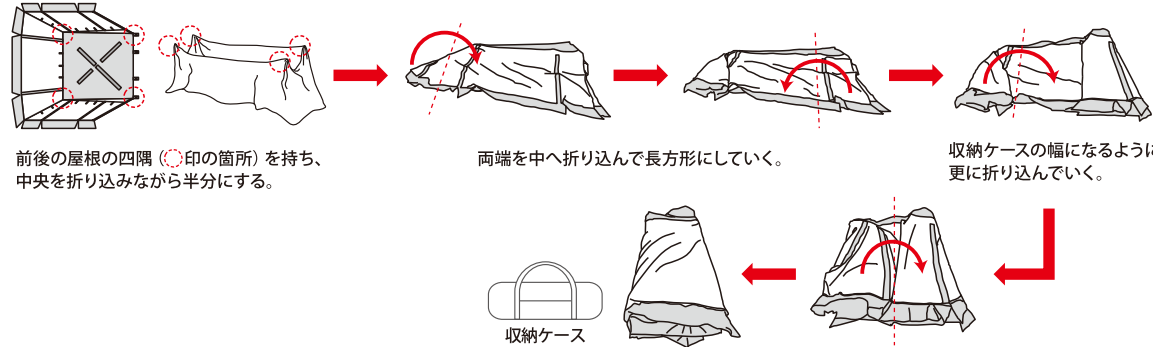
撤収手順

- 1 吊り下げていたインナーテントを取り外します。フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。

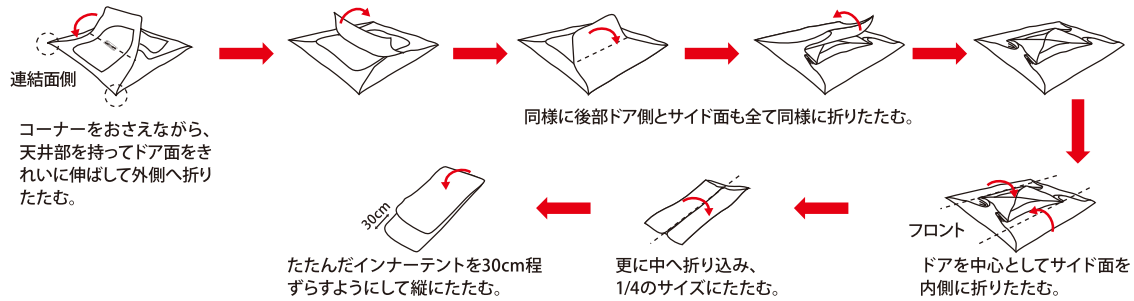


注意

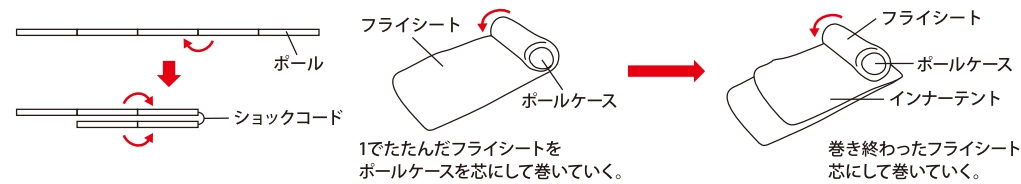
テント・タープを濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



- 2 インナーテントから、空気を逃がすためにドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



- 3 ポールを全ておりたたみポールケースに収納し、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を延ばす事が出来ません。収納ケースに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。



Model 2000038144

CAR SIDE TENT/ 3025

[カーサイドテント/3025]

取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

お問い合わせ先 コールマンカスタマーサービス:0120-111-957

受付時間:月曜日~金曜日(祝祭日を除く)10:00~17:30

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項

危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント、タープ内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の悪天候の際は危険ですのでテント、タープの使用はおやめください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所にテント、タープを設営しないでください。

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- 無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。指を挟まないように注意してください。また、周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント、タープ内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子ども手の届かない場所に保管してください。

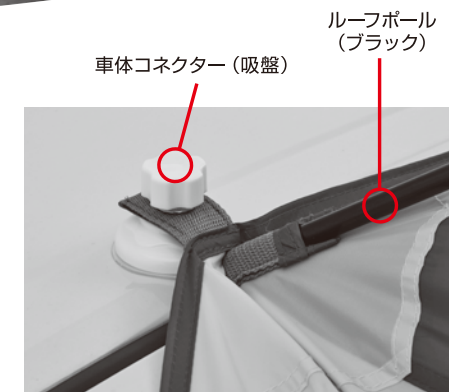
各部の名称・セット内容

セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- フライシート 1張
- インナーテント 1張
- ルーフポール (ブラック) 2本
- コーナーポール 2本
- 車体コネクター (吸盤) 2個
- 自在ロープ 4本
- プラスチックペグ 2本
- スチールペグ 14本
- ハンマー 1本



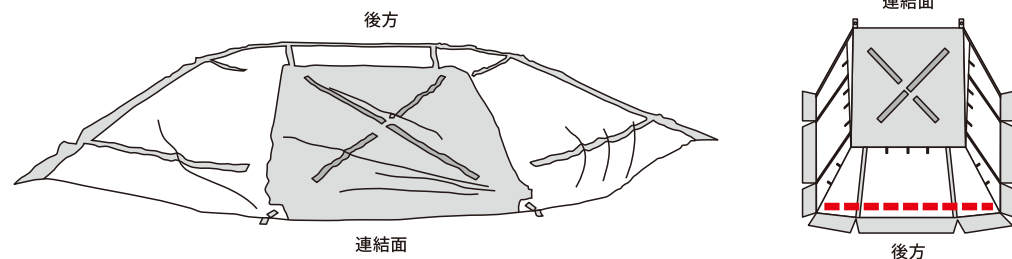
設置時



設営手順

I フライシートを広げる

STEP 1 フライシートを広げます。
(スタンディングテープのバックルが留まっているか確認してください。
留まっていないとうまく立ち上がりません。)



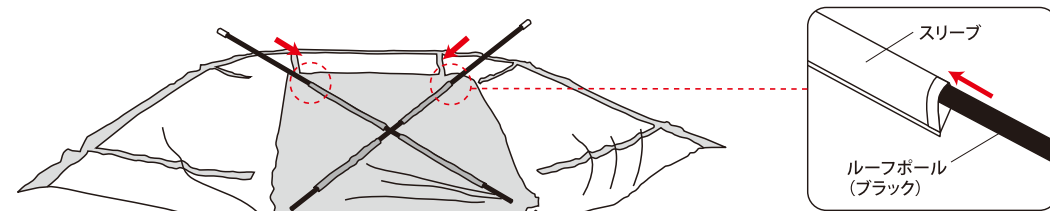
II ルーフポール(ブラック)をセットする

STEP 2 ルーフポール(ブラック)を伸ばします。
片方の端にキャップがあり、もう片方の端には金具があります。



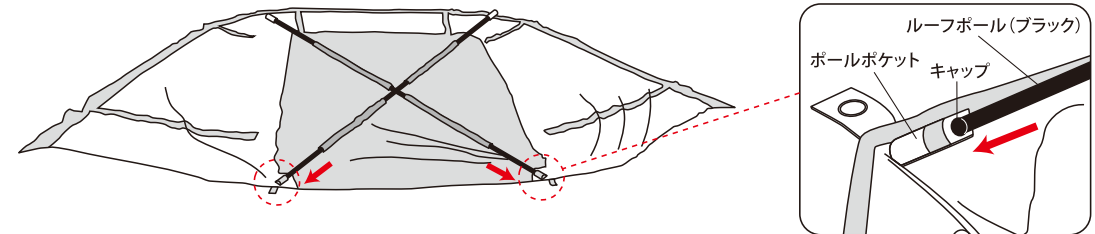
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 3 ルーフポール(ブラック)2本がクロスになるように後方のスリーブから通します。
ポールの端がキャップ側からスリーブに通していきます。

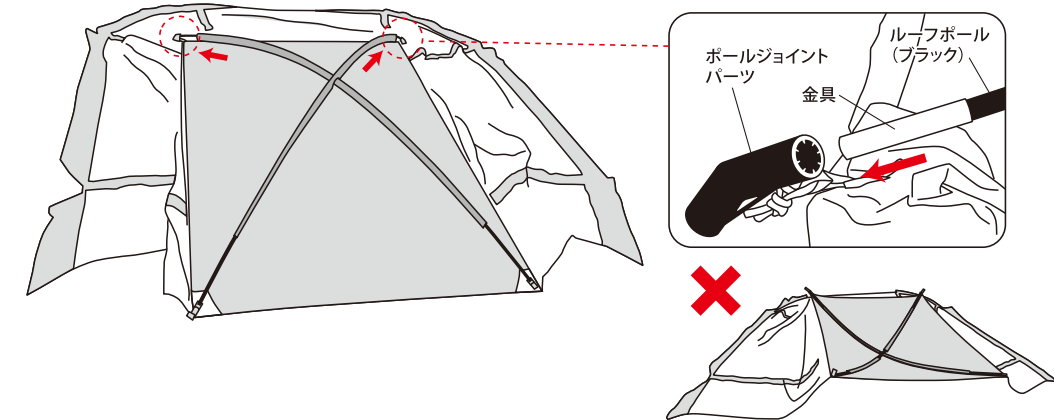


注意 ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

STEP 4 ルーフポール(ブラック)2本のキャップ側の端を、フライシート連結面側にあるポールポケットにそれぞれ差し込みます。



STEP 5 2本のルーフポール(ブラック)の金具側をそれぞれポールジョイントパーツ(中にギザギザがある側)に差し込み、屋根をアーチ型にします。



注意 ポールジョイントパーツの穴は、中にギザギザがある方がルーフポール用です。ポールのはね返りで屋根がおわん型にならないようにしてください。
ポールが折れる可能性があります。

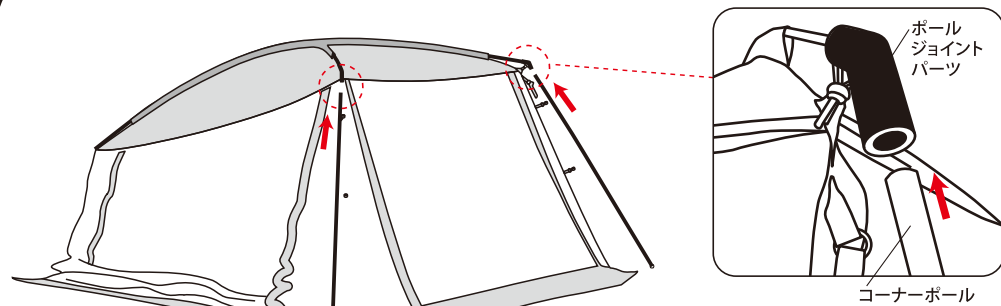
III コーナーポールをセットする

STEP 6 コーナーポールを伸ばします。

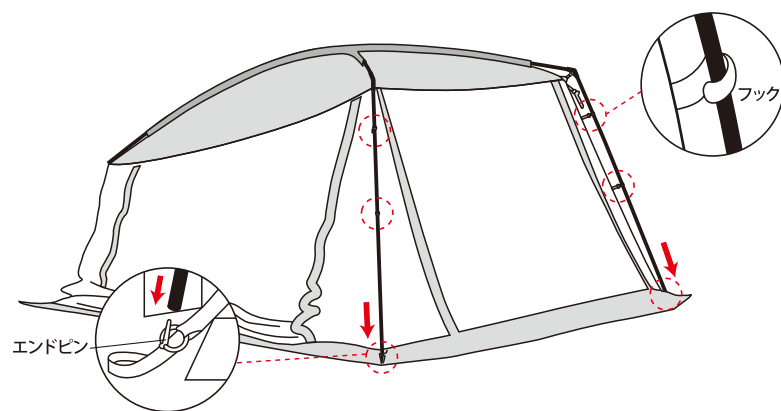


注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 7 2本のコーナーポールをそれぞれポールジョイントパーツに差し込みます。



STEP 8 2本のコーナーポールをそれぞれフライシートコーナーにあるエンドピンに差し込みます。本体についているフックを各ポールにかけ固定します。



注意 ポールをピンに差し込む際、指をはさまないように気をつけてください。フックを掛ける際に、手をはさまないように気をつけてください。

IV 設置場所を決めフライシートを固定する

STEP 9 後方及び左右のフライシートのファスナーを全て閉めます。

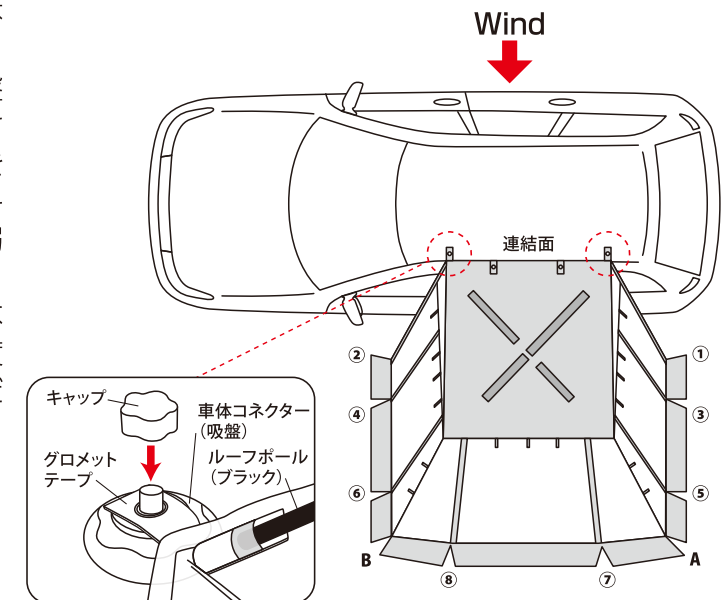
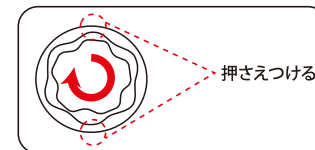
注意 ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した時にドアが閉まらなくなることがあります。

STEP 10 設置場所を決め車体と連結させ固定する

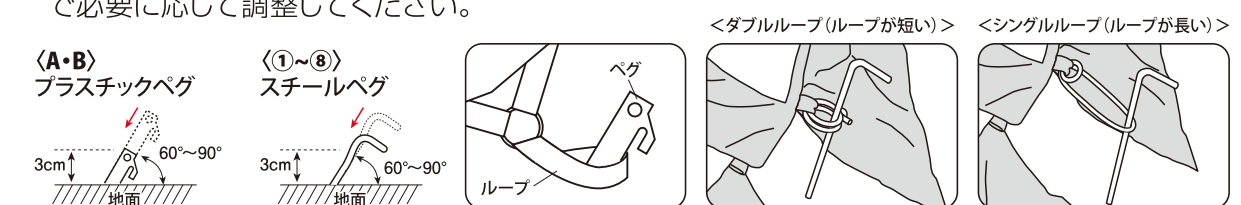
※本製品は吸盤を使用して車体と連結させます。必ず風上側に車を止め、テントが直接風を受けないように設置してください。風を受けると吸盤が外れ連結できない場合があります。
※車体コネクターの吸盤が接地面のどこに吸着するか事前にご確認の上、車体と連結させてください。

(車の横に連結する場合)

- ①フライシート連結面のルーフポール(ブラック)のそばにあるグロメットテープ2ヶ所に車体コネクタを軽くセットします(グロメットテープを車体コネクタとキャップで挟みます)。
- ②車体コネクタを、吸着可能な車体のルーフの上に移動します。
- ③片方の手で、車体コネクタの吸盤を接地面に対して(2~3か所)押さえつけながら反対手でキャップを閉めていきます(押さええない場合キャップを閉めるだけでは吸着力が弱く連結できない場合があります)。
※車体コネクタの吸盤が吸着しない場合は、キャップを一度外し、再度押さえながらキャップを閉めてください。



- ④2ヶ所のループ(A・B)にプラスチックペグを打ち、本体を固定してください。次にラバーループを張出し、図のように8ヶ所を順に①~⑧にスチールペグを打ち、本体を固定してください。
※ラバーループはダブルループ・シングルループで長さを調整できるようになっています。各箇所が必要に応じて調整してください。



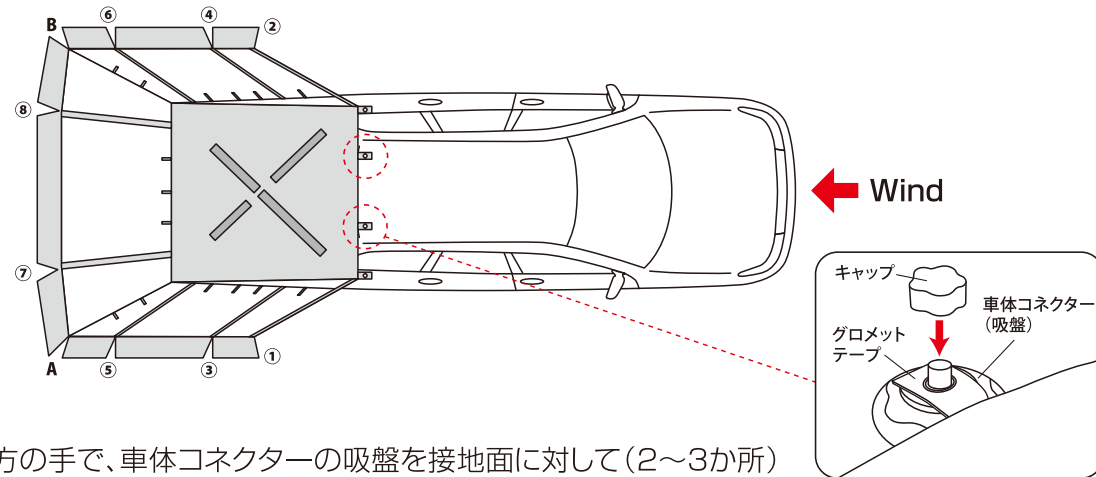
ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

注意

車体コネクタの吸盤の接地面及び車体の接地面は水拭きで表面をきれいにしてから取り付けてください。車体コネクタの吸盤の直径は約6cmです。車体の接地面は6cm以上の平らな場所で連結してください。車体のルーフでは吸着が弱く車の横に連結ができない場合は、車体後方での連結をお試しください。車体コネクタの設置場所によっては本体が浮いてしまったり沈んでしまうことがあります。

(車の後方に連結する場合)

- ①フライシート連結面の内側にあるグロメットテープ2ヶ所に車体コネクタを軽くセットします(グロメットテープを車体コネクタとキャップで挟みます)。
- ②車体コネクタを、吸着可能な車体後方に移動します(取り付け位置は、リアゲート・後方窓・ルーフなど車体によって変わります)。

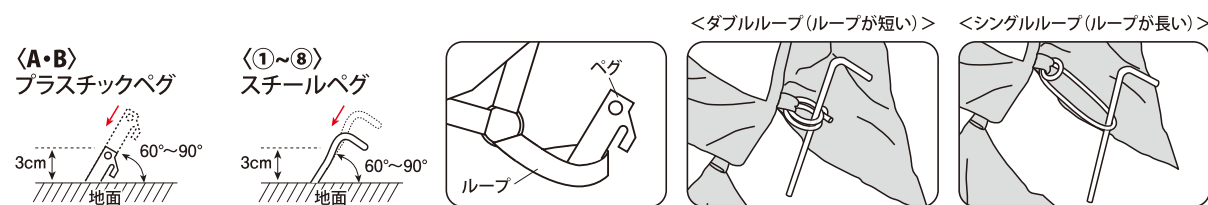


- ③片方の手で、車体コネクタの吸盤を接地面に対して(2~3か所) 押さえつけながら反対の手でキャップを閉めていきます(押さえない場合キャップを閉めるだけでは吸着力が弱く連結できない場合があります)。

※車体コネクタの吸盤が吸着しない場合は、キャップを外し、再度押さえながらキャップを閉めてください。

- ④2ヶ所のループ(A・B)にプラスチックペグを打ち、本体を固定してください。次にラバーループを張出し、図のように8ヶ所を順に(①~⑧)にスチールペグを打ち、本体を固定してください。

※ラバーループはダブルループ・シングルループで長さを調整できるようになっています。各箇所が必要に応じて調整してください。



ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

! 注意

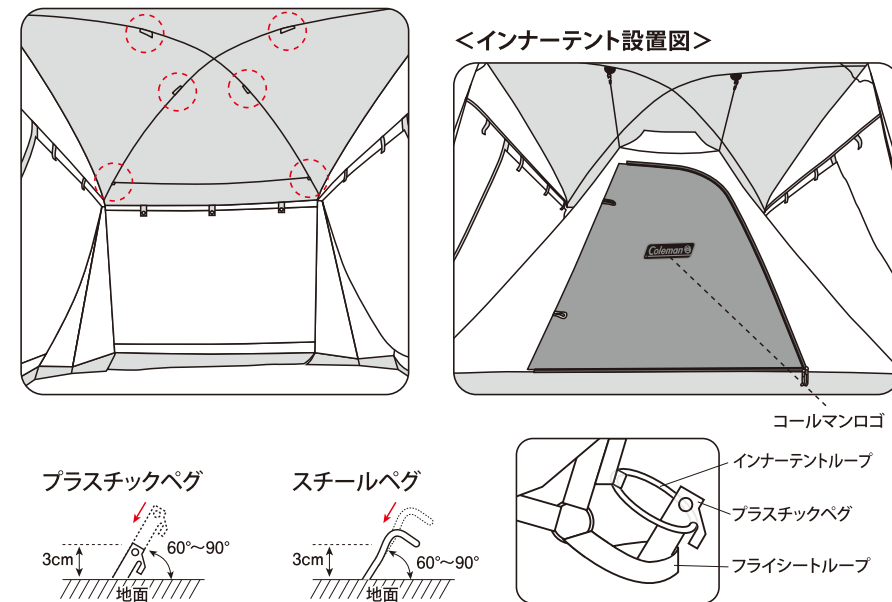
車体コネクタの吸盤の接地面及び車体の接地面は水拭きで表面をきれいにしてから取り付けてください。
 車体コネクタの吸盤の直径は約6cmです。車体の接地面は6cm以上の平らな場所で連結してください。
 車体コネクタの吸盤はガラス面でより吸着します。車体のリアゲートやルーフでは吸着が弱く連結ができない場合は、後方窓のガラス面での連結をお試しください。
 車体コネクタの設置場所によっては本体が浮いてしまったり沈んでしまうことがあります。

V インナーテントをセットする

STEP 11 インナーテントの前後のファスナーを全て閉めます。

! 注意 ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した時にドアが閉まらなくなることがあります。

- STEP 12** インナーテントを吊り下げます。コールマンロゴがある面が連結面側になります。フライシート内側にあるリングにインナーテントのフックをかけます。フロアの四隅にあるループをそれぞれペグで固定します。まずは、後方のループをフライシートを固定したプラスチックペグと一緒に固定します。次に、連結面側のループをスチールペグで固定します。

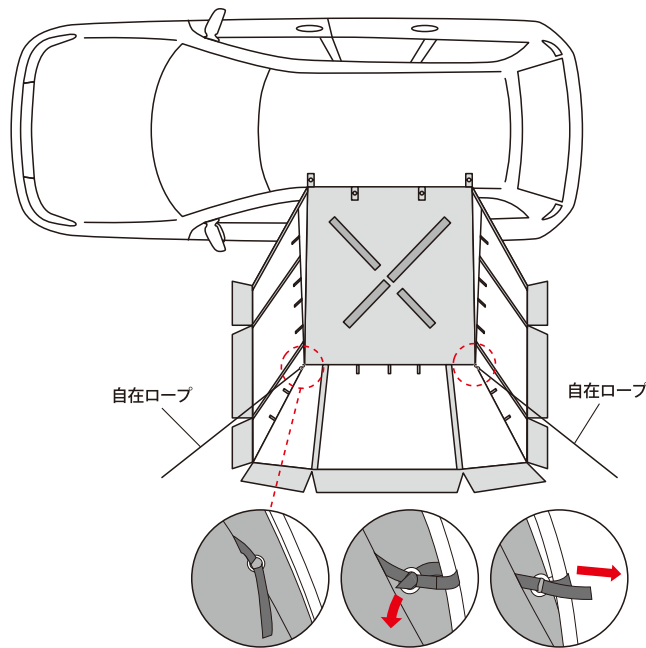


ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

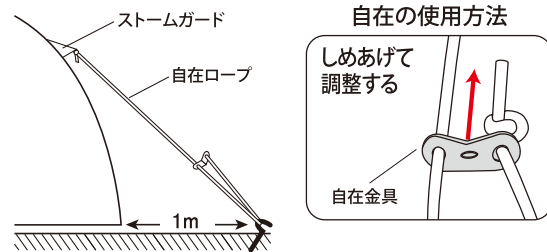


VI ロープを張り固定する

STEP 13 ストームガードシステムはテントの安定性を高めます。各ポールにストームガードでポールとフライシートを固定し、ロープを図のように取り付けペグで固定します。



左図の要領にてロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。

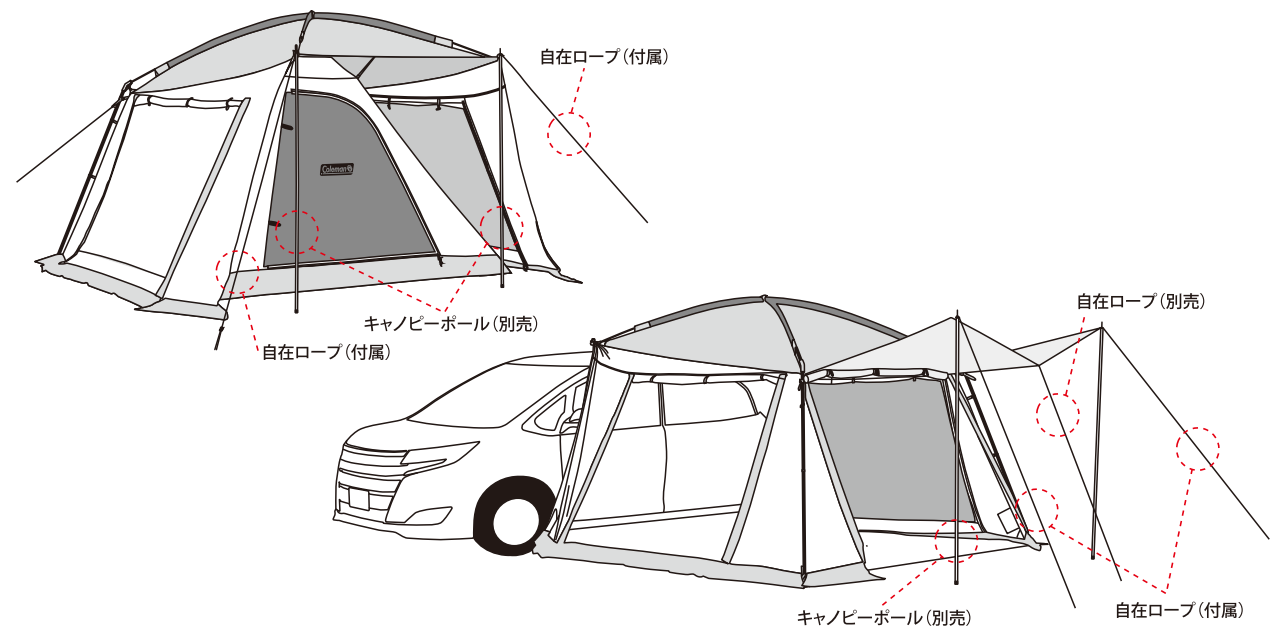
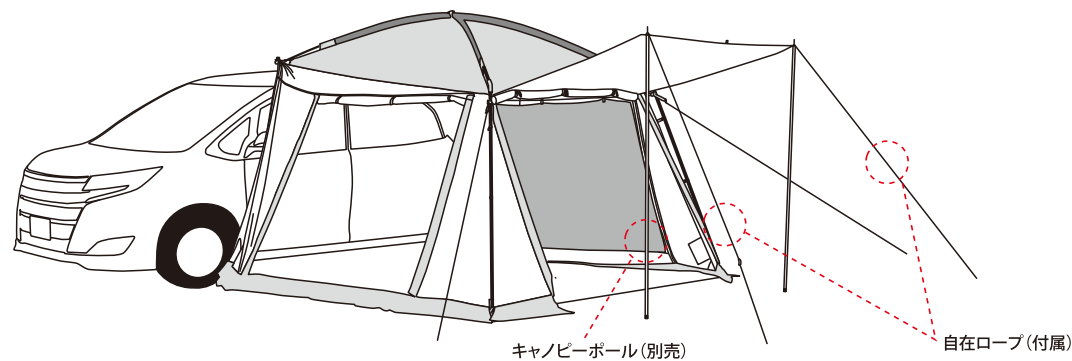


ストームガード
ウェビングテープをポールに巻きつけることで、生地とポールに力を分散。

注意 大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

VII キャノピーポールの活用

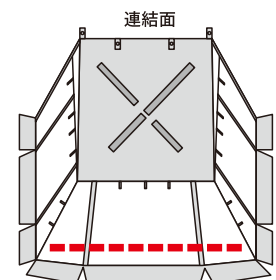
別売りのキャノピーポールで、キャノピーの張り出しはもちろん、車との連結なしでも自立が可能です。



注意 雨天にキャノピーとして活用する場合は水がたまりやすくなります。その際はキャノピーに傾斜を作るか、右図のように中央部にロープを結びペグ止めて雨水を流してください。風の強い時は、必ずキャノピーを閉じてください。ポールが折れるおそれがあります。

VIII スタンディングテープの利用

設営後に、スタンディングテープに足を引っ掛けるなどのおそれがある時は、スタンディングテープを外すことができます。(右図赤点線位置)スタンディングテープを外したら近くのポケットに収納してください。



注意 撤収時にはスタンディングテープを装着してから撤収してください。次回立ち上げる時にスムーズに設営に取り掛かれます。

IX インナーテントベンチレーションの利用

連結面側のドアは上下別々にフラップを開閉できます。プライバシーを確保しながら換気や温度調節ができます。

